

# 彙報

## 平成十七年度 研究所員研究業績

中村 本然

○論文

「真言密教における如意宝珠〈信仰〉」『中世の仏教—頼瑠僧正を中心として—』 青史出版 二〇〇五年五月 四一—七九頁

「道範記『菩提心論談義記』について」『頼富本宏博士還暦記念論文集 マンダラの諸相と文化』上—金剛界の巻 法蔵館 二〇〇五年一月 三九五—四三〇頁

「立義分」読誦信仰について—金剛界三十七尊との関わりを中心として—①⑤ 『高野山時報』第三〇五九—三〇六四号 二〇〇六年一月—三月

○口頭発表

「『金剛頂経開題』の構想について」 密教文化研究所研究会 二〇〇六年三月

奥山 直司

○口頭発表

「瞑想と密教図像の成立」 シンポジウム「宗教観の表現としての美術（中部イタリア神学部との国際学術交流、イタリア・フィレンツェ） 二〇〇五年十一月

「故宮調査報告」 密教文化研究所研究会 二〇〇六年三月

乾 仁志

○論文

「漢訳経軌に見える入智」『頼富本宏博士還暦記念論文集 マンダラの諸相と文化』上—金剛界の巻 法蔵館 二〇〇五年一月 一八三—一九八頁（横組）

「『理趣経』の成立に関する一考察」『弘法大師と唐代密教—弘法大師入唐千二百年記念論文集—』 法蔵館 二〇〇五年二月 二四五—二七四頁

「関于『理趣経』形成的考察」（劉建英氏、中国語訳）、韓昇主編『古代中国・東亜世界的内在交流』 復旦大学出版社 二〇〇五年二月 一四六—一六六頁

「観智院蔵『蓮華部心念誦儀軌』二巻本の翻刻（下）」『密教文化』二一五—二〇〇五年二月 五五—八〇頁

○口頭発表

「弘法大師の両部思想」 密教文化研究所研究会 二〇〇六年三月

藤田 光寛

○口頭発表

「真言密教の儀礼—高野山における密教儀礼—」 シンポジウム「宗教観の表現としての美術」（中部イタリア神学部との国際学術交流、イタリア・フィレンツェ） 二〇〇五年十一月

「密教の比較考察—高野山の真言密教とインド密教と—」 高野町・高野町教育委員会・高野山大学共催講座 高野山学（高野町中央公民

館) 二〇〇五年十一月

## 平成十七年度 寄贈図書及び交換寄贈雑誌目録

左掲の寄贈図書及び交換雑誌は平成十七年四月より平成十八年三月末までの間に登録したものです。御寄贈者の諸機関ならびに諸氏には厚く御礼申し上げます。当研究所の図書充実のため、今後とも一層の御協力と御支援をお願いいたします。

## 寄贈図書

- アビダンマ講義シリーズ 第一巻 〈物質の分析 ブッダの実践心理学〉  
アルボムッレ・スマナサーラ、藤本晃著(サンガ 平成17年12月)  
日本テーラワータ仏教協会殿
- インド学仏教学叢書 10 〈慈雲の正法思想〉 沈仁慈著  
(山喜房仏書林 平成15年9月) 齋藤眞純殿
- 閲蔵 第1号 〈同朋大学大学院文学研究科紀要〉  
(同朋大学大学院文学研究科 平成17年12月) 発行者殿
- 絵馬と色刷り版画でたどる色彩のうつろい  
(元興寺、元興寺文化財研究所 平成16年10月) 元興寺文化財研究所殿
- 改訂九度山町史 史料編 別冊1 九度山町史編纂委員会編  
(九度山町 平成12年3月) 編者殿
- カラーシンチレーターシステムX線透過装置の文化財への応用 1  
〈平成14～16年度科学研究費補助金(基盤研究(A)(2))研究成果報告書〉
- 川崎大師教学研究所紀要 〈仏教文化論集 第5輯〉  
川崎大師教学研究所編  
(大本山川崎大師平間寺 昭和63年9月) 甲田博史殿
- きのくに仮面の世界 〈高野山周辺の芸能と紀伊徳川家の能〉  
和歌山県立博物館編(同博物館 平成17年4月) 発行者殿
- きのくにの歴史と文化 和歌山県立博物館編  
(同博物館 平成16年5月) 発行者殿
- 堯栄文庫研究紀要 第6号 親王院堯栄文庫編  
(親王院堯栄文庫 平成17年10月) 発行者殿
- 空海学術体系的范畴研究 王益鳴著  
(広東人民出版社 平成17年9月) 著者殿
- 熊野速玉大社の名宝 和歌山県立博物館編  
(同博物館編 平成17年10月) 甲田博史殿
- グローカール新書 5 〈ことばの元を探る 智恵と文字の仕込み〉  
末延岑生著(天理大学おやさと研究所 平成17年3月) 発行者殿
- 元興寺文化財研究所研究報告 2004  
(元興寺文化財研究所 平成17年3月) 発行者殿
- 光華叢書 6 〈宗教の相貌 民族と宗教を考える〉  
光華女子大学真宗文化研究所編(同研究所 平成17年3月) 発行者殿
- 弘法大師空海の研究 武内孝善著(吉川弘文館 平成18年2月) 著者殿
- 高野山大学論叢 第40巻 高野山大学編(同大学 平成17年2月)

植田直見研究代表者(元興寺文化財研究所 平成17年3月)

発行者殿

○高野枿をつくらせた荘園

〈紀の川流域荘園詳細分布調査概要報告書2 官省符荘現況調査〉  
紀の川流域荘園詳細分布調査委員会編 (同委員会 平成15年3月)

発行者殿

甲田博史殿

○こころ 第1巻 〈在家仏教こころの研究紀要〉

(在家仏教こころの研究紀要 平成17年12月)

発行者殿

日野西眞定殿

○西國寺調査報告書 第1号 徳島文理大学編

(同大学 平成16年3月)

大本山西國寺殿

○(財)大和文化財保存会援助事業による世尊寺の版木

(元興寺文化財研究所 平成17年3月)

発行者殿

○サンスクリット語初等文法摘要 〈豊山原典研究叢書 3〉 齋藤光純著

(ノンブル社 平成15年4月)

齋藤眞純殿

○修美 第24巻 通巻90、91、92号

(修美社 平成17年4月、7月、10月)

発行者殿

○修美 第25巻 通巻93号

(修美社 平成18年1月)

発行者殿

○神道古典研究所紀要 第11号 神道古典研究所編

(神道大系編纂会 平成17年3月)

発行者殿

○初期仏典 1 〈入出息念経〉

(中央僧伽大学校譯経学科 平成17年6月)

発行者殿

○人文研ブックレット 17 〈ドイツロマン主義と文化学〉

トーマス・アルトハウト著 (中央大学人文科学研究所 平成17年2月)

発行者殿

○人文研ブックレット 18 〈イギリス小説のやすらぎ〉 深澤俊著

(中央大学人文科学研究所 平成17年12月)

発行者殿

○人文研ブックレット 19 〈文学と音楽〉 松本道介著

(中央大学人文科学研究所 平成18年2月)

発行者殿

○神仏のかたちシリーズ 第4号 〈釈迦如来〉

(学習研究社 平成17年12月)

発行者殿

○随心院聖教と寺院ネットワーク 第2集 藤巻和宏編

(随心院聖教調査研究会 平成17年3月)

甲田博史殿

○図解雑学 密教 今井淨圓、那須真裕美著

(ナツメ社 平成17年11月)

見聞社殿

○図説アジア文字入門 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所編

(河出書房新社 平成17年4月)

甲田博史殿

○図録弘法大師 京都府立総合資料館編

(京都府立総合資料館友の会 昭和47年10月)

甲田博史殿

○仙石山論集 第2巻 (国際仏教学大学院大学 平成17年9月)

発行者殿

○増吐僧正 武田和昭著 (五岳 平成17年11月)

総本山 善通寺殿

○大蔵経対照目録 2 (国際仏教学大学院大学附属図書館 平成18年1月)

発行者殿

○大唐長安展 〈京都のはるかな源流をたずねる〉 (京都文化博物館 平成6年)

甲田博史殿

○中央学院大学社会システム研究所紀要 第6巻 第1号

(中央学院大学社会システム研究所 平成17年12月) 発行者殿

○中央大学人文科学研究所研究叢書 35 〈民国後期中中国国民党政権の研究〉

- 中央大学人文科学研究所編 (中央大学出版部 平成17年3月) 編者殿
- 中央大学人文科学研究所研究叢書 36 (現代中国文化の軌跡)  
中央大学人文科学研究所編 (中央大学出版部 平成17年3月) 編者殿
- 中央大学人文科学研究所研究叢書 37 (アジア史における社会と国家)  
中央大学人文科学研究所編 (中央大学出版部 平成17年3月) 編者殿
- 中央大学人文科学研究所研究叢書 38 (ケルト 口承文化の水脈)  
中央大学人文科学研究所編 (中央大学出版部 平成18年3月) 編者殿
- 中央大学人文科学研究所研究叢書 39 (ツェラーンを読むということ)  
中央大学人文科学研究所編 (中央大学出版部 平成18年3月) 編者殿
- 中国唐・長安の文物 波濤をこえて 兵庫県立歴史博物館編 (同博物館 平成元年3月) 甲田博史殿
- 日文研叢書 33-1 (近世艶本資料集成 3 川嶋信清・1)  
早川聞多編著 (国際日本文化研究センター 平成16年9月) 発行者殿
- 日文研叢書 33-2 (近世艶本資料集成 3 磯田湖龍齋・1)  
早川聞多編著 (国際日本文化研究センター 平成16年9月) 発行者殿
- 日文研叢書 33-3 (近世艶本資料集成 3 北尾重政・1)  
早川聞多編 (国際日本文化研究センター 平成16年9月) 発行者殿
- 日文研叢書 34 (東寿院阿弥陀如来像内納入品資料) 青木淳編 (国際日本文化研究センター 平成17年3月) 発行者殿
- 日文研叢書 35 (小学校で椅子に座ること) 西村大志著 (国際日本文化研究センター 平成17年3月) 発行者殿
- 日文研叢書 36 (表現における越境と混濁) 井波律子、井上章一編 (国際日本文化研究センター 平成17年9月) 発行者殿
- 根来寺展 (根来大伝法院七百年記念)  
(根来寺展実行委員会 昭和63年4月) 甲田博史殿
- 拔萃のつゞり 65 (同製作所 平成18年1月) 発行者殿
- 般若心経と祈りの美学 飯島太千雄著 (浄土宗清林寺 平成17年10月) 著者殿
- 東アジア仏教研究 第3号  
創価大学文学部菅野研究室内東アジア仏教研究会編 (同研究会 平成17年5月) 発行者殿
- 豊山長谷寺拾遺 第3輯 (彫刻) 元興寺文化財研究所編 (総本山長谷寺文化財等保存調査委員会 平成17年9月) 発行者殿
- 密教学会報 第42、43号 高野山大学密教学会編 (同学会 平成16年3月、17年3月) 発行者殿
- 密教文化 第213、214号 密教研究会編 (密教研究会 平成16年12月、17年3月) 発行者殿
- 柳澤孝旧蔵書籍目録 (独立行政法人文化財研究所東京文化財研究所 平成18年1月) 発行者殿
- 和歌山県立博物館研究紀要 第11号 和歌山県立博物館編 発行者殿

(国博物館 平成17年 〇月) 発行巻数

○和歌山県立博物館年報 Vol.14

(和歌山県立博物館 平成17年 〇月) 発行巻数

○Adam Gamble, Takesato Watanabe, *A Public Betrayed*, Washington: Regnery Publishing, Inc., 2004.

回生社大社キネイト・ロツマニケーンション研究センター

○Emmanuel Faure et. al., *Hahavastu-Avadana Vol.2: Word Index and Reverse Word Index*, Philologica Asiatica, Monograph Series 22. Tokyo: The Chuo Academic Research Institute, 2006.

発行巻数

○Jonathan A. Silk, *Body Language*, Studia Philologica Buddhica Monograph Series 19. Tokyo: The International Institute for Buddhist Studies, 2006.

発行巻数

○Indosan Nipponji Bodh-Gaya, *The Buddhism and Education: An Obligation to the Successors*, The XXVIII. International Buddhist Conference, International Buddhist Conference, 2003. 発行巻数

○International Association for Buddhist Thought & Culture, *International Journal of Buddhist Thought & Culture*, Vol.5. Korea: International Association for Buddhist Thought & Culture, 2005.

発行巻数

○International Research Center for Japanese Studies, *Nichibunken Japan Review* No.17. Kyoto: International Research Center for Japanese Studies, 2005.

発行巻数

○Stefano Zacchetti, *In Praise of the Light*, Bibliotheca Philologica et Philosophica Buddhica 8. Tokyo: The International Research

Institute for Advanced Buddhology, Soka University, 2004.

発行巻数

○Institute of Buddhist Studies, ed., *Pacific World, Journal of the Institute of Buddhist Studies, Third series* No.6. Berkeley: Institute of Buddhist Studies, 2004.

発行巻数

○*Japanese Religions*, Vol.28, No.1. Kyoto: NCC Center for the Study of Japanese Religions, 2003. 発行巻数

発行巻数

○Lambert Schmithausen, *On the Problem of the External World in the Cheng wei shih lun*, Studia Philologica Buddhica Occasional Paper Series 13. Tokyo: The International Institute for Buddhist Studies, 2005.

発行巻数

○Oyasato Institute for the Study of Religion *Tenri University, Tenri Journal of Religion*, No.33. Tenri: Tenri University Press, 2005.

発行巻数

○Samten G. Karmary, *Feast of the Morning Light*, Bon Studies 9, Senri Ethnological Report 15. Osaka: National Museum of Ethnology, 2005.

発行巻数

○S.G.Catane et al., *Explosive Volcanism in the Philippines*. Creas Monograph Series No.18. Sendai: Center for Northeast Asian Studies Tohoku University, 2005.

発行巻数

○Tenpa Yungdrung et al. ed., *Bonpo Thangkas from Khyungpo*, Bon Studies 10, Senri Ethnological Report 60. Osaka: National Museum of Ethnology, 2005.

発行巻数

○Yumi Ousaka, *Automatic Analysis of the Canon in Middle Indo-Aryan by Personal Computer II*, Philologica Asiatica, Monograph

Series 21. Tokyo: The Chuo Academic Research Institute, 2005.

発行者殿

## 交換寄贈雑誌

- 1 愛知学院大学文学部紀要〈第35号〉  
愛知学院大学文学会（同会・平成18年3月）
- 2 あふひ・AOI〈第10号〉  
京都産業大学日本文化研究所（同研究所・平成17年3月）
- 3 アジア研究所紀要〈第31号〉  
亜細亜大学アジア研究所編（同研究所・平成17年3月）
- 4 アジア文化研究〈31、別冊14〉  
国際基督教大学アジア文化研究所編（同研究所・平成17年3月）
- 5 アジア文化研究所年報〈第40号〉（2005年度）  
東洋大学アジア文化研究所編（同研究所・平成18年2月）
- 6 叡山学院研究紀要〈第27号〉 叡山学院編（同学院・平成17年3月）  
大倉山論集〈第51輯〉  
大倉精神文化研究所編（同研究所・平成17年3月）
- 8 大谷大学真宗総合研究所研究紀要〈第22号〉  
大谷大学真宗総合研究所編（同研究所・平成17年3月）
- 9 神田外語大学紀要〈第17、18号〉  
神田外語大学編（同大学・平成17年3月、18年3月）
- 10 紀州経済史文化史研究所紀要〈第26号〉  
和歌山大学紀州経済史文化史研究所（同研究所・平成17年12月）
- 11 九州大谷研究紀要〈第32号〉  
九州大谷短期大学内九州大谷学会編（同学会・平成18年3月）
- 12 教化学論集〈第5号〉  
日蓮宗現代宗教研究所編（日蓮宗宗務院・平成17年3月）
- 13 現代宗教研究〈第39号〉  
日蓮宗現代宗教研究所編（日蓮宗宗務院・平成17年3月）
- 14 現代密教〈第18号〉 智山伝法院（同院・平成17年3月）
- 15 皇学館大学神道研究所紀要〈第22輯〉  
皇学館大学神道研究所編（同研究所・平成18年3月）
- 16 光華女子大学研究紀要〈第42号〉  
光華女子大学編（同大学・平成16年12月）
- 17 光華女子大学短期大学部研究紀要〈第42集〉  
光華女子大学短期大学部編（同大学部・平成16年12月）
- 18 国際日本文学研究集会会議録〈第28、29回〉（二〇〇四、二〇〇五）  
国文学研究資料館編（同資料館・平成17年3月、18年3月）
- 19 国際仏教学大学院大学研究紀要〈第9号〉  
国際仏教学大学院大学編（同大学・平成17年3月）
- 20 国士館大学文学部人文学会紀要〈第37、38号〉  
国士館大学文学部人文学会編（同大学同学会・平成17年3月、12月）
- 21 史境〈第50、51号〉  
歴史人類学会編（同学会・平成17年3月、9月）
- 22 種智院大学研究紀要〈第7号〉  
種智院大学基礎教育研究室編（同大学・平成18年3月）
- 23 種智院大学密教資料研究所紀要 第6、7合併号  
種智院大学密教資料研究所編（同研究所・平成17年3月）
- 24 城西大学国際文化研究所紀要〈第11号〉

- 25 信愛紀要〈第46号〉  
城西大学国際文化研究所編（同研究所・平成18年3月）
- 26 真宗文化〈第14号〉  
光華女子大学真宗文化研究所（同研究所・平成17年3月）
- 27 神道資料叢刊〈9〉、鈴木重胤紀行文集2〉  
谷省吾、加茂正典編（皇学館大学神道研究所・平成18年3月）
- 28 人文研紀要〈第53、54、55号〉  
中央大学人文科学研究所（同研究所・平成17年10月）
- 29 禅研究所紀要〈第33号〉  
愛知学院大学禅研究所（同大学同研究所・平成17年3月）
- 30 普通寺教学振興会紀要〈第10号〉  
普通寺教学振興会（同会・平成16年12月）
- 31 創価大学国際仏教学高等研究所年報〈第8号〉  
創価大学国際仏教学高等研究所編（同大学同研究所・平成17年3月）
- 32 地域と社会〈第8号〉  
大阪商業大学比較地域研究所編（同研究所・平成17年7月）
- 33 筑紫女学園大学・筑紫女学園大学短期大学部紀要〈第1号〉  
筑紫女学園大学・筑紫女学園大学短期大学部編（同大学・同大学同部・平成18年1月）
- 34 中央学術研究所紀要〈第34号〉  
中央学術研究所編（同研究所・平成17年12月）
- 35 中央学術研究所紀要 モノグラフ篇 No.10  
〈原始仏教聖典資料による釈尊伝の研究10 個別研究篇2〉  
（東北大学東北アジア研究センター・平成17年4月）
- 36 中央大学人文科学研究所年報〈第26号（二〇〇四）〉  
森章司著（中央学術研究所・平成17年4月）
- 37 鶴見大学仏教文化研究所紀要〈第10号〉  
鶴見大学（同大学・平成17年4月）
- 38 天台学報〈第46号〉  
天台学会編（同学会・平成16年11月）
- 39 天理大学おやさと研究所年報〈第11号（二〇〇四）〉  
天理大学おやさと研究所編（同研究所・平成17年3月）
- 40 東京成徳大学研究紀要〈第12号〉  
東京成徳大学編（同大学・平成17年3月）
- 41 東京大学史料編纂所研究紀要〈第15号〉  
東京大学史料編纂所編（同所・平成17年3月）
- 42 東京大学史料編纂所報〈第39、40号〉  
東京大学史料編纂所編（同所・平成16年10月、17年10月）
- 43 東京立正女子短期大学紀要〈第33号〉  
東京立正女子短期大学編（同大学・平成17年3月）
- 44 東西学術研究所紀要〈第38輯〉  
関西大学東西学術研究所編（同研究所・平成17年4月）
- 45 東北アジアアラカルト〈第12号〉、シベリア通信 2000年—2004年  
徳田由佳子編（東北大学東北アジア研究センター・平成16年10月）
- 46 東北アジアアラカルト  
〈第14号、新技術開発ダイジェスト 2001年—2004年〉  
徳田由佳子編（東北大学東北アジア研究センター・平成17年4月）

- 47 東北アジア研究〈第9号〉 東北大学東北アジア研究センター編  
(同センター・平成17年3月)
- 48 東北アジア研究センター叢書  
〈第15号、ロシア史料にみる18〜19世紀の日露関係 第1集〉  
寺山恭輔編(東北大学東北アジア研究センター 平成16年3月)
- 49 東北学院大学東北文化研究所紀要〈第37号〉  
東北学院大学東北文化研究所編(同研究所・平成17年1月)
- 50 東北学院大学論叢〈第40、41号〉  
東北学院大学学術研究会(同研究会・平成18年3月)
- 51 東北福祉大学研究紀要〈第29巻〉  
東北福祉大学編(同大学・平成17年3月)
- 52 東洋学研究〈第41号〉  
東洋大学東洋学研究所(同研究所・平成16年2月)
- 53 東洋学論叢〈30(東洋大学文学部紀要 印度哲学科篇第58集)〉  
東洋大学文学部印度哲学科編(同大学文学部・平成17年3月)
- 54 東洋大学中国哲学文学科紀要〈第13号(東洋大学文学部紀要第58集)〉  
東洋大学文学部中国哲学文学科編(同大学文学部・平成17年3月)
- 55 東洋哲学研究所紀要〈第21号〉  
東洋哲学研究所(同研究所・平成17年12月)
- 56 東洋の思想と宗教〈第22号〉  
早稲田大学東洋哲学会編(同学会・平成17年3月)
- 57 同朋大学仏教文化研究所紀要〈第24号〉  
同朋大学仏教文化研究所編(同研究所・平成17年3月)
- 58 同朋大学論叢〈第90号〉  
同朋大学同朋学会(同学会・平成18年3月)
- 59 奈良大学紀要〈第33、34号〉 奈良大学編  
(同大学図書館・平成17年3月、18年3月)
- 60 成田山仏教研究所紀要〈第29号〉  
成田山仏教研究所(同研究所・平成18年2月)
- 61 日文研〈32、33、34号〉 国際日本文化研究センター編  
(同センター・平成16年9月、17年3月、8月)
- 62 日本研究〈第29、30、31集〉 国際日本文化研究センター編  
(同センター・平成16年12月、17年3月、10月)
- 63 日本語と日本語教育〈第33、34号〉  
慶応義塾大学日本語・日本文化教育センター編  
(同センター・平成17年3月、18年3月)
- 64 福井県立大学論叢〈第25、26、27号〉  
福井県立大学編(同大学・平成17年2月、7月、18年2月)
- 65 仏教学報〈第41、42輯〉  
東国大学校仏教文化研究院編(同大学・平成16年12月、17年2月)
- 66 仏教研究〈第33号〉 国際仏教徒協会編(同会・平成17年3月)
- 67 仏教大学総合研究所紀要〈第12号〉  
仏教大学総合研究所編(同研究所・平成17年3月)
- 68 仏教大学総合研究所紀要  
〈別冊 後水尾法皇下賜正明寺蔵 初刷『黄檗版大藏経』目録〉  
仏教大学総合研究所編(同研究所・平成16年12月)
- 69 仏教大学総合研究所紀要〈別冊 仏教と自然〉  
仏教大学総合研究所編(同研究所・平成17年3月)
- 70 仏教美術研究上野記念財団助成研究会報告書〈第32冊、画像蒐成10〉  
仏教美術研究上野記念財団助成研究所編(同研究所・平成17年3月)



- 71 平和と宗教〈第24号〉  
庭野平和財団平和研究会編（同財団・平成17年12月）
- 72 北陸宗教文化〈第17号〉  
金沢大学文学部比較文化学研究室内北陸宗教文化学会  
（同学会・平成17年3月）
- 73 密教学〈第40、41号〉  
種智院大学密教学会編（同学会・平成16年3月、17年3月）
- 74 密教学研究〈第37号〉 日本密教学会編（同学会・平成17年3月）
- 75 身延山大学仏教学部紀要〈第5号〉  
身延山大学仏教学部編（同大学同学部・平成16年10月）
- 76 身延論叢〈第9、10号〉  
身延山大学仏教学会（同学会・平成16年3月、17年3月）
- 77 民具マンスリー〈第37巻12号、第38巻1〜12号〉  
神奈川大学日本常民文化研究所編  
（同研究所・平成17年3月〜18年3月）
- 78 龍谷史壇〈第122、123号〉  
龍谷大学史学会編（同学会・平成16年2、3月）
- 79 歴史と民俗〈22〉  
神奈川大学日本常民文化研究所編（同研究所・平成18年3月）
- 80 論叢アジアの文化と思想〈第13号〉 アジアの文化と思想の会編  
（早稲田大学文学部東洋哲学研究室内同会・平成16年12月）

平成十八年 密教文化研究所だより

定例の合同研究会（テーマ「弘法大師の思想とその展開」、「密教の形成と流伝」、「密教と現代社会の諸問題」）では、生井所長のもと、中村本然・奥山直司両専従所員、乾仁志・藤田光寛・佐藤隆彦・山脇雅夫各所員、学外研究者として大塚伸夫、川崎一洋、静春樹、高松哲雄、田中悠文、棚次正和、苦米地誠一、トーマス・ドライトライン、堀内規之、松居竜五各氏にも委託研究員として御参加いただいている。

特に本年は初めての試みとして、「密教と現代社会の問題」を主テーマとするワークショップが三回連続で開催された。これは三人の担当者が毎回個別のテーマについて発表し、それぞれの内容について参加者を交えて議論する形式で、

- 平成18年6月23日（金）高松哲雄「傾聴すること―スピリチュアルケアの原理と実際―」
- 7月3日（月）生井智紹「国際化された現代社会と真言密教」
- 7月10日（月）川崎一洋「南詔・大理国時代の密教文献」  
静春樹「金剛乗の阿闍梨によるタントラ分類について」
- 9月25日（月）中村本然「道範撰『金剛頂経開題勘註』について」
- 10月16日（月）乾仁志「『秘蔵記』の曼荼羅について」
- 10月23日（月）奥山直司「仏教はいつから仏教と呼ばれるようになったか」

10月30日(月) 佐藤隆彦「二法界ソリヤ法について」

11月20日(月) 大塚伸夫氏『孔雀明王経』の密教的展開

11月29日(水)

「密教と現代社会の問題」についてのワークショップ①

棚次正和、山脇雅夫、室寺義仁(コーディネーター)

12月13日

「密教と現代社会の問題」についてのワークショップ②

平成19年1月15日(月) 藤田光寛「大乘戒と三昧耶戒」

1月22日(月)

「密教と現代社会の問題」についてのワークショップ③

1月23日(火) 田中悠文「二十五箇条『御遺告』と弘法大師

法をめぐって」

月例研究会の他、個別の研究会として、中村所員の主管により『道順記』輪読会」を毎月一、二回開催している。『道順記』は嘉元三年(一二〇五)四月常盤井殿(龜山法皇の仙洞御所)において、後宇多上皇が醍醐報恩院道順や仁和寺菩提院了遍等を集め、真言の宗義について談義せしめた時の記録で、鎌倉後期の宗義上の問題点や論義の形態を知る貴重な資料である。人数は少ないものの、研究所所員・研究員の他、大学院生や聴講生が参加し、高野山親王院所蔵写本を元に本文の校訂を進めつつ、授業や研究会では取り上げがたい細部の問題にも踏みこんで検討する有意義な機会となり、毎回長時間に及んでいる。

平成十八年度は密教文化研究所受託研究員として十八名、ステイブン・トレンソン(ベルギー、京都大学大学院博士後期課程)、ペテロ・

バーケルマンズ(ベルギー、オリエンズ宗教研究所)、パオラ・ディ・フェリーチェ(イタリア)、北川真寛(高野山大学講師)、土居夏樹、波多野智人、中谷征充、サンニャ・ユルコヴィッチ、平賀由美子、伊東秀一郎(以上六名、高野山大学大学院博士後期課程単位取得退学)、菊谷竜太(東北大学大学院博士後期課程)、飛鷹満秀(東京大学大学院総合文化研究科博士課程退学)・加納和雄(日本学術振興会特別研究員PD)、上野康弘、大観慈聖(以上二名、京都大学大学院博士後期課程単位取得退学)各氏を、それぞれ平成十八年四月一日から同十九年三月三十一日まで、大柴慎一郎氏(中国、中山大学中国語言文学系古文字学博士課程学位取得)を平成十八年七月十五日から同十九年三月三十日まで、ウイリアム・マツダ氏(ハワイ大学東アジア言語文学研究科博士課程)と大森弘氏(近畿大学名誉教授)を平成十八年十月一日から同十九年三月三十一日まで受け入れている。

高野山大学では密教文化研究所初代所長中野義照博士の業績を顕彰するため、中野博士の著作物売上金と御親族の寄附金を基金とし、平成十二年から「中野義照博士奨学金」を設けている。平成十八年度は四件の申請があったが、平成十八年七月二十一日研究所協議会において選考の結果、本年度は採用しないことになった。

平成十四年度から継続事業として開始された高野山親王院所蔵聖教・古文書調査は、平成十七年三月で上蔵(表蔵)の聖教約二百二十箱の調査が終わり、鎌倉から江戸初期頃迄の古写本や古文書を中心に、五百七点、約一万七千五百コマを撮影した。この程、データ整理が完了し、冊子目録が作成された。

密教文化研究所構成員名簿 (平成十八年十二月現在)

- 所長 生井 智紹 (文学部教授)
- 専従研究所員 中村 本然 (文学部教授)
- 〃 奥山 直司 (文学部教授)
- 兼任研究所員 藤田 光寛 (文学部教授)
- 〃 乾 仁志 (文学部教授)
- 〃 室寺 義仁 (文学部教授)
- 〃 佐藤 隆彦 (文学部助教授)
- 〃 山脇 雅夫 (文学部助教授)
- 〃 大塚 伸夫 (大正大学講師)
- 委託研究員 川崎 一洋 (高野山大学講師)
- 〃 静 春樹 (高野山大学講師)
- 〃 田中 悠文 (智山専修学院学監)
- 〃 苦米地誠一 (大正大学助教授)
- 〃 トーマス・ドライトライン (高野山大学講師)
- 〃 堀内 規之 (大正大学講師)
- 〃 松居 竜五 (龍谷大学助教授)
- 〃 高松 哲雄 (徳島大学講師)
- 顧問 松長 有慶 (名誉教授)
- 研究所事務室長 甲田 博史
- 専門員 甲田 博史
- 高岡 隆真
- 塩崎まどか (非常勤)

〇退任 平成十八年三月三十一日付  
奥山 直司 専従研究所員

- 〇就任 平成十八年四月一日付
- 藤田 光寛 兼任研究所員
  - 乾 仁志 兼任研究所員
  - 大塚 伸夫 委託研究員
  - 川崎 一洋 委託研究員
  - 北尾 隆心 委託研究員
  - 静 春樹 委託研究員
  - 田中 悠文 委託研究員
  - 苦米地誠一 委託研究員
  - トーマス・ドライトライン 委託研究員
  - 堀内 規之 委託研究員
  - 松居 竜五 委託研究員
  - 高松 哲雄 委託研究員
  - 棚次 正和 委託研究員
  - 奥山 直司 専従研究所員
  - 藤田 光寛 兼任研究所員
  - 乾 仁志 兼任研究所員
  - 室寺 義仁 兼任研究所員
  - 佐藤 隆彦 兼任研究所員
  - 山脇 雅夫 兼任研究所員
  - 大塚 伸夫 委託研究員
  - 川崎 一洋 委託研究員
  - 静 春樹 委託研究員
  - 田中 悠文 委託研究員
  - 苦米地誠一 委託研究員
  - トーマス・ドライトライン 委託研究員
  - 堀内 規之 委託研究員
  - 松居 竜五 委託研究員
  - 高松 哲雄 委託研究員
  - 棚次 正和 委託研究員

## 高野山大学密教文化研究所規程

### (総則)

第一条 この規程は、高野山大学(以下「本学」という。)学則第三九条に基づき、密教文化研究所(以下「研究所」という。)の目的及び組織等に必要事項を定めるものである。

### (目的)

第二条 この研究所は、真言密教の蘊奥を究め、これを顕揚すると共に社会に貢献するを以て目的とする。

### (事業)

第三条 前条の目的を達成するために、次の事業を行う。

- ① 弘法大師の著作研究
- ② 真言密教の研究並びに調査
- ③ 密教文化に関する共同研究
- ④ 国内外の研究機関並びに研究者との学術交流
- ⑤ 研究資料の収集及び整理並びに提供
- ⑥ 研究成果の刊行並びに公表
- ⑦ 研究会及び講演会の開催
- ⑧ 密教に関する情報サービス
- ⑨ その他の必要な事業

### (研究組織)

第四条 研究所に次の研究部門を置く。

- ① 基礎研究部門
- ② 総合研究部門

### (職員組織)

第五条 研究所に次の職員を置く。

- ① 研究所長 若干名
- ② 研究所長 若干名
- ③ 研究員 若干名
- ④ 第九条に規定する事務職員 若干名

### (研究所長)

第六条 研究所長は、本学専任の教授の中から学長が推薦し、理事長が任命する。

- 2 研究所長の任期は三年とし、再任を妨げない。
- 3 研究所長は、学長の下に研究所に関する事項を掌理する。

### (研究所員)

第七条 研究所員は、本学専任の教育職員の中から、研究所長が文学部長と協議の上推薦し、学長が教授会の議を経て委嘱する。

- 2 研究所員を専従研究所員及び兼任研究所員とする。
- 3 専従研究所員は、主として研究所の研究及び事業に従事する。
- 4 専従研究所員の任期は二年とし、再任を妨げない。
- 5 専従研究所員の担当する授業時間数については、文学部長又は文学研究科長が研究所長と協議の上、学長がこれを定める。

6 兼任研究所員は、本務に兼ねて研究所の特定課題の研究又は事業に従事する。

7 兼任研究所員の任期は一年とし、再任を妨げない。

(研究員)

第八条 研究員を専任研究員、委託研究員及び受託研究員とする。

2 専任研究員は、学長が研究所長と合議の上、教授会の議を経て任用する。

3 専任研究員の任期は一年とし、本学が必要と認める場合には、再契約をすることがある。

4 専任研究員は、研究所員の指導の下に研究及び事業に従事する。

5 委託研究員は、研究所長が推薦し、学長が委嘱し、教授会に報告する。

6 委託研究員の委託期間は一年とし、本学が必要と認める場合には、再委嘱することがある。

7 委託研究員は、研究課題に基づいて研究を行う。

8 委託研究員の受け入れについては、学長が研究所長と合議の上決定し、教授会に報告する。

(事務組織)

第九条 研究所の事務は、研究所事務室がつかさどる。

2 研究所事務室に事務室長、専門員及びその他の専務職員を置く。

3 事務職員は、研究所の事務又は事業に従事する。

4 専門員は、研究所長及び研究所事務室長の下に研究所の事業に関する特殊な専門的知識、経験等を必要とする分野の

業務を直接処理する。

(運営)

第一〇条 研究所の運営を協議するために研究所に協議会置く。

2 研究所協議会に関する事項は、別に定める。

(顧問及び賛助員)

第一一条 研究所に顧問及び賛助員を置くことができる。

2 顧問及び賛助員は、研究所協議会の議を経て学長が委嘱する。

(学則の準用)

第二二条 この規程に定めるもののほか、研究所の運営に関して必要な事項は、本学の学則及びその他の本学の諸規程を準用する。

(規定の改廃)

第一三条 この規程の改廃は、学長が研究所長とはかり教授会の議を経て、理事会の承認を得るものとする。

附則

一 この規程は昭和三三年四月一日より施行する。

一 この規程は昭和五一年四月一日より施行する。

一 この規程は昭和五九年四月一日より施行する。

一 この規程は平成二年二月一六日より施行する。

一 この規程は平成三年二月十八日より施行する。

一 この規程は平成三年四月一日より施行する。

一 この規程は平成五年四月一日より施行する。

一 この規程は平成七年五月一日施行し、平成七年四月一日より適用する。

一 この規程は平成八年四月一七日施行し、平成八年四月一日より適

用する。

一 この規程は平成一四年二月二日より施行する。

### 『密教文化研究所紀要』編集委員会規程

第1条 密教文化研究所（以下「研究所」という。）に、『密教文化研究所紀要』（以下「紀要」という。）編集委員会（以下「編集委員会」という。）を設ける。

第2条 編集委員会は、次の委員をもって構成する。

- (1) 研究所長
- (2) 専従研究所員
- (3) 「紀要」編集担当者

2 編集委員長は研究所長がこれにあたる。研究所事務室長は、幹事として編集委員会の事務を処理する。

第3条 編集委員会研究所長が招集し、その議長となる。議長に事故あるときは、互選によって議長を選出する。

第4条 編集委員会は、次の事項を審議し、研究所協議会に報告する。

(1) 「紀要」に寄稿された原稿の掲載の可否および掲載の時期の決定。

(2) 「紀要」寄稿者への補筆および補正の要請。

第5条 委員の任期は1年とする。ただし重任を妨げない。

第6条 この規程の改廃は、研究所協議課員の議を経て、研究所長が決定する。

### 附則

1 この規程は、平成九年四月一日から施行する。

1 この規程は、平成一四年五月二日から施行する。

## 『密教文化研究所紀要』寄稿規程

- 第1条 『密教文化研究所紀要』（以下「紀要」という。）は、日本およびアジア地域などにおける密教の思想と文化に関する研究論文、研究ノート、研究資料、書評などを掲載発表することにより、密教文化の研究の発展に寄与することを目的とする。
- 第2条 「紀要」に寄稿することができる者は、次のとおりとする。
- (1) 研究所長
  - (2) 研究所員
  - (3) 研究員
  - (4) 編集委員会が適当と認める者
- 第3条 原稿は、原則として四百字詰原稿用紙七十枚以内とする。
- 第4条 原稿は完全原稿とする。執筆者校正は再稿までとし、校正時の大幅な変更・追加等は認めない。
- 第5条 寄稿された原稿は、査読委員会の査読を経て、編集委員会が掲載の可否および掲載の時期を決定する。また、編集委員会は、寄稿者に補筆および修正を求めることができる。
- 第6条 原稿料の支払い、掲載料の徴収は行わない。
- 第7条 寄稿者には、掲載誌二部および抜刷三十部を贈呈し、その経費は研究所が負担する。

## 附則

- 1 この規程は、平成九年四月一日から施行する。

## 『密教文化研究所紀要』査読委員会規程

- (設置)
- 第1条 密教文化研究所（以下「研究所」という。）に、『密教文化研究所紀要』査読委員会（以下「査読委員会」という。）を設置する。
- (目的)
- 第2条 査読委員会は、寄稿論文原稿を査読し、紀要の学術的価値の向上を計ることを目的とする。
- (構成)
- 第3条 査読委員会は、研究所長を委員長とし、研究所員若干名の委員をもって構成する。
- 2 委員長は、寄稿論文のテーマにしたがって、研究所員以外から委員を委嘱することができる。
- (任務)
- 第4条 委員は、寄稿された論文原稿について査読し、その学術的評価を判断して、その結果を委員会に報告する。
- 2 委員長は、各委員からの報告を受けて査読委員会を開き、論文掲載の可否を審議し、編集委員会に報告する。
- (任期)
- 第5条 委員の任期は1年とする。ただし重任を妨げない。
- (改廃)
- 第6条 この規程の改廃は、研究所協議会の議を経て、研究所長が決定する。

附  
則

1 この規程は平成九年四月一日から施行する。

---



## 執筆者紹介（掲載順）

中村 本然 密教文化研究所専従研究所員

（文学部教授）

田中 悠文 密教文化研究所委託研究員

（智山専修学院学監）

大観 慈聖 密教文化研究所委託研究員

（京都大学大学院文学研究科博士

後期課程退学）

加納 和雄 密教文化研究所委託研究員

（日本学術振興会特別研究員P.D）

## 編集後記

『密教文化研究所紀要』第二十号をお届けいたします。今号には中村本然、田中悠文、加納和雄、大観慈聖各先生の論文を掲載いたしました。

昨年第十九号の後記でもお伝えしましたが、日本私立学校振興・共済事業団学術振興資金による研究課題「南アジアにおける密教図像の形成と展開に関する研究」の成果の一部を、平成十八年三月に森雅秀『パラ朝の仏教美術作例リスト』（『密教文化研究所紀要』別冊3）として刊行いたしました。貴重な百七十六点の写真資料を含む全二百八十八ページ、報告書としてはやや大部な仕上りとなっています。

平成十八年は高野山大学創立百二十周年に当たり、記念行事の一つとして九月五日から四日間、「高野山国際密教学術大会」が開催され、当研究所からも所員・研究員が研究発表・司会等に参加しました。その他、連日国内外から二百名を超える参加者が予想されたため、受託研究員各氏にも協力を要請、大学院生と共に会場の整理や配布資料の準備等、運営に必要な種々の雑用に力を発揮していただきました。特に記録しておきたいと思いません。

（甲田記）

高野山大学密教文化研究所紀要 第二十号

平成十九年二月二十一日 印刷  
平成十九年二月二十五日 発行

編集者 密教文化研究所

代表者 生 井 智 紹

発行所 密教文化研究所

和歌山県伊都郡高野山高野山大学

電話 (〇七五) 五二二五〇 〇六八〇三〇

印刷所 第一印刷出版株式会社

大阪市福島区福島七一一三二一

電話 (〇六) 六四六二九七二六 〇五五二〇〇三